

2023年 3月期 第1四半期決算 FAQ

2023年3月期 第1四半期決算発表に関して、株主・投資家の皆様から想定されるご質問内容をまとめました。決算短信および決算補足資料とあわせてご覧ください。

全体について

1. 第1四半期の業績は、計画通りか？

事業ごとの強弱は若干ありますが、全体としては、売上・利益ともに概ね計画通りに推移しています。

2. 通期の業績予想に変更はないか？

足元では円安の進行や中国における新型コロナウイルス感染症拡大に伴うロックダウン影響等のリスク要因がありますが、これらの業績への影響は精査中であり、現時点では通期の営業利益予想250億円について変更はありません。

国内教育事業

3. 「進研ゼミ」の足元の在籍数の状況は？

4月の在籍が対前年マイナスでスタートしたため、第1四半期の延べ在籍数も対前年では▲8.6%となっていますが、概ね計画通りの進捗です。

4. 学校向け教育事業の状況は？

第1四半期は全体としては概ね計画通りに進捗しています。小・中学校事業において、ミライシードが順調な拡大を続けています。

5. 塾・教室事業の状況は？

第1四半期は全体としては概ね計画通りに進捗しています。

6. 大学・社会人事業の状況は？

大学・社会人事業を成長事業と位置付けており、この第1四半期から売上高を開示しています。

大学に向けた入学前教育や、オンライン学習サービス「Udemy」が好調で、全体としては計画を上回って推移しています。

Kids&Family 事業

7. 国内「こどもちゃれんじ」の状況は？

第1四半期は、概ね計画通りに推移しています。

8. 中国「こどもちゃれんじ」の状況は？

3月後半から5月まで、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い上海でロックダウンがあり、配送遅延やそれに伴う退会等の影響が出ています。中国の決算期は12月で、4月から6月が第2四半期にあたるため、第1四半期より第2四半期の方が業績への影響が大きくなると見えています。

一方で、昨年度激化していた競争環境は、中国の政策変更（双減政策）により競合の事業収束・撤退が相次いだことで、足元では緩和しています。当社の「こどもちゃれんじ」は双減政策による規制対象にあたらないため、当社にとって事業環境は好転していると考えております。今後は販売を強化し、回復を図ってまいります。

介護・保育事業

9. 足元の入居率の状況は？

第1四半期は概ね計画通りの進捗です。

今年度末には93%まで回復させる計画です。

足元では新型コロナウイルス感染症拡大の「第7波」に入っておりますが、感染対策をしっかりとここないながら、入居率の改善につとめてまいります。